

第4章 知的財産部門の活動



はじめに

知的財産部門長 本間 高弘

知的財産部門では、大学で生み出される研究成果を社会に還元するため、大学TLOと連携しながら、知的財産の承継と権利化や、企業へのライセンス等による活用を図っております。こうした活動を支障なく推進するため、関連規則類の整備や各種契約書（共同研究・受託研究・特許共同出願契約書のひな型）の見直しも適宜実施しております。

また、学内の教員や学生向けの知的財産セミナー、知的財産権の授業や、学外の知財関係者向けの知財シンポジウム等を通して、知財への啓発活動や情報発信を積極的に行っております。

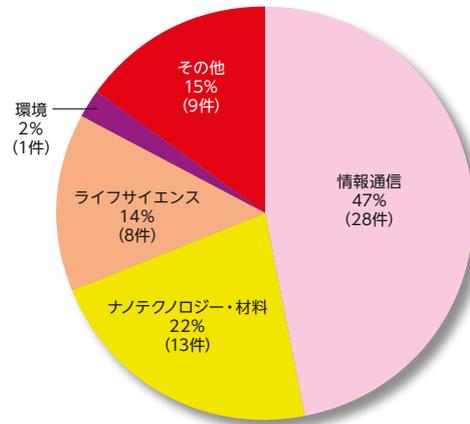
2003年に知的財産本部が設置されて以来、知的財産の保護、活用を担うための体制整備とその運営を行ってまいりました。最近の傾向として、本学の主要な研究分野の一つである情報系の知財の活用が盛んになってきています。今後とも学内、学外の皆様方のご要望に沿った支援ができるよう、更なる努力をする所存です。



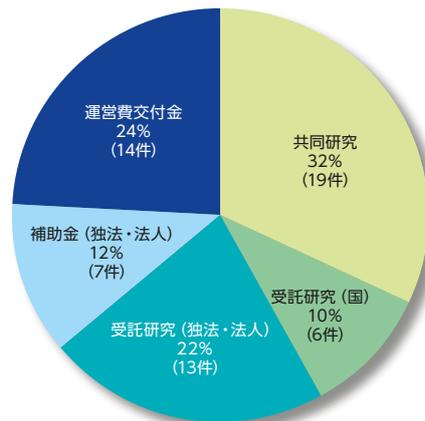
知的財産部門メンバー

4-1 知的財産活動

27年度の知的財産部門では評価委員会を40回開催した。発明の届出は59件あり、そのうち評価委員会で49件を承継した。また、本学の特色である著作物の届出も14件あり、評価委員会ですべて承継した。分野別、発明のもととなった研究の内訳は以下のとおりである。



分野別内訳 (平成27年度・国内出願)



発明のもととなった研究の内訳
(平成27年度・国内出願)

本年度までの発明届出・出願件数（国内および外国特許出願、特許登録件数の推移を含む）、特許登録件数、特許権・著作権の実施許諾、および譲渡契約数・収入の推移は巻末のデータ集（Ⅲ.特許統計データ）に記載した。

4-2 電気通信大学 知財セミナー

■電気通信大学 知財セミナー

「大学における知的財産 ～成功するための留意点と活用事例～」

【日 時】平成27年7月22日（水）16:15～17:20

【会 場】電気通信大学 東3号館306号室

【主 催】電気通信大学 産学官連携センター知的財産部門

【プログラム】

16:20～16:35 『特許権・著作権の基礎知識』

- ・発明と著作物
- ・発明者と特許権者
- ・特許になる発明

知的財産マネージャー・弁理士 田中 秀晴

16:35～16:50 『学内手続き』

- ・知的財産権の取り扱い
- ・特許取得までの流れ
- ・論文発表と特許出願

知的財産マネージャー 加古 彰子

16:50～17:05 『共同研究における知財』

- ・共同研究における知財の考え方
- ・研究担当者に課される義務
- ・外部資金と知財

知的財産マネージャー 村松 宏祥

17:05～17:20 『知財活用の事例紹介』

- ・成功した事例の要因分析
- ・トラブルとなった事例の原因と対策
- ・研究室でソフトウェアを作成する上での注意点 等

知的財産部門長 教授 本間 高弘

【参加対象者】学内教職員・学生

【開催概要】

本セミナーは本学の教職員および学生の知的財産に対する意識向上を目的として企画、開催した。本学で取り扱いの多い特許権・著作権を中心に基礎知識、学内手続、外部資金による発明等の留意点および活用事例などを紹介した。

年々活発になっている著作権については、特に詳細に説明を行った。

今後、より良い知的財産の活用が学内に深く浸透することを目指し、引き続き知財セミナーを開催していくつもりである。

【参加状況】参加者（合計37人）

教職員 29人

学 生 8人

【参加者の感想】

- 共同研究の話は興味深かった
- 教員同士では共同研究に関する情報の交換は基本的にしないので、特に事例の話は参考になった
- もっといろいろな事例を紹介していただきたい
- 年2回程度開催されればいいのではないか



**教職員
学生
対象**

知財 セミナー

2015.7/22(水) **申込不要**
16:15 ~ 17:20
東3号館(総合研究棟)306室

特許権 著作権 学内手続き
共同研究での知財の取扱い 本学特許の活用例・留意点

お気軽にご参加ください!

主催：産学官連携センター お問い合わせ
知的財産部門
TEL: 042-443-8888 E-mail: chiri@ipc.uao.ac.jp
知的財産部門・ホームページ: <http://www.ipc.uao.ac.jp/>



4-3 電気通信大学 知的財産シンポジウム

■電気通信大学 知的財産シンポジウム

【大学における知的財産の活用】

【日 時】平成27年12月4日（金）13:30～17:15

【会 場】電気通信大学B棟201号室

【主 催】電気通信大学産学官連携センター知的財産部門

【プログラム】

- 13:30～ 主催者挨拶 電気通信大学長 福田 喬
- 13:35～ ご来賓挨拶 文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 大学 技術移転推進室専門官 小河 了一 氏
- 13:45～ ご来賓挨拶 経済産業省 産業技術環境局技術振興・大学連携推進課 大学連携推進室長 宮本 岩男 氏
- 14:15～ 講演「シンポジウム開催趣旨、ソフトウェア実用化とライセンス」
電気通信大学 産学官連携センター 本間 高弘
- 14:35～ 講演「北海道大学の知財・産学連携に関する取組み事例～知財管理・商標・地域協働～」
北海道大学 産学・地域協働推進機構 寺内 伊久郎 氏
- 14:55～ 講演「知財活用と共同研究の一体的推進」
東京工業大学 産学連携推進本部 高橋 秀実 氏
- 15:15～ 講演「技術開発コンソーシアムと知的財産の活用」
東京理科大学 研究戦略・産学連携センター 牛窪 孝 氏
- 15:35～ 休憩
- 15:50～ 講演「大学発ベンチャー育成支援と大学知財活用の相乗効果」
静岡大学 イノベーション社会連携推進機構 林 正浩 氏
- 16:10～ 講演「臨床データ移転の取扱いについて」
大阪大学 産学連携本部 藤澤 幸夫 氏
- 16:30～ 講演「ヒアリング調査の分析結果」
電気通信大学 産学官連携センター 村松 宏祥
- 16:50～ 講演「知財管理事務調査結果」
電気通信大学 産学官連携センター 加古 彰子
- 17:10～ 閉会挨拶 電気通信大学 理事（研究戦略担当） 三橋 涉
- 17:30～ トワイライト・カフェ
創立80周年記念会館「リサーチ」1階（会費制 1,000円）

【参加対象者】大学関係者

*大学特有の課題について議論するため、参加対象を大学関係者（大学に所属されている方）に限定した。そのため、大学以外に所属されている方のご参加はお断りさせていただいた。

【開催概要】

知的財産の機関帰属への移行後、全国の大学では、地域性や研究分野等の大学特有の事情を踏まえた知的財産の創出、管理、活用を図ってきたが、知財活用に至るプロセスにおいて、大学共通の課題が発生することが多く、その解決手法を共有することで、全国の大学の知財活用が活性化できる可能性がある。

本シンポジウムでは、特許のみならず、商標、著作物、ノウハウ、マテリアル等の知的財産の活用で特色ある取り組みをされている大学にご講演頂き、その成功要因を分析し議論することで、参加大学の知財活用に役立てたいと考えた。

【参加状況】 外部からの申込 73人 (ほかにお断り5人)

講演参加者 (合計87人)

来賓・講演者 8人
 学外 53人
 学内 26人

トワイライト・カフェ参加者 (合計48人)

来賓・講演者 7人
 学外 19人
 学内 22人

【アンケートまとめ】

回収したアンケート数 42枚

(1) 興味のあるテーマについて (複数回答可)

「シンポジウム開催趣旨、ソフトウェア実用化とライセンス」	22
「北海道大学の知財・産学連携に関する取組み事例」	27
「知財活用と共同研究の一体的推進」	25
「技術開発コンソーシアムと知的財産の活用」	20
「大学発ベンチャー育成支援と大学知財活用の相乗効果」	26
「臨床データ移転の取扱いについて」	18
「ヒアリング調査の分析結果」	28
「知財管理事務調査結果」	18

(2) シンポジウムの内容に関する意見、要望、今後取り上げてほしいテーマ など

- 様々な取り組みを知ることができ有意義であった。業務上最近気になっていた事がトピックスにあがっておりタイミングが良かった
 各大学のチャレンジ事例を今後の業務に生かしたい
- 各大学それぞれの取り組みがよく分かった
- 各大学で他大学に共有・提供できる取り組み (施策など) を相互に紹介することもあってよいと思う (実際に相互に共有する)
- 知財事務管理についてのマンパワーの問題は重要だと思う
 引続きUNITTなどでもテーマとして取り上げてほしい
- 興味のある内容だが講演時間が短くて、まとめがかけ足りなかったり細かい話が割愛されているのが残念だった
- 地方自治体で地元大学の共同研究や大学発ベンチャー創出支援を担当している知的財産の出願や活用について議論にあがること多いものの自治体としてどのように大学の知的財産活用を支援できるか、なかなかイメージできていなかったが、本シンポジウムで各地の大学の取り組みを知ることができ大変有益な情報をいただいたぜひ大学と関わりのある自治体にも本シンポジウムの内容を共有していただくと大学・地域双方の発展につながるのではと思う
- 共同研究にかかる企業先探しの苦労を含め、成功例を披露いただく内容を取り上げて頂きたい
- 日々いろいろ悩みながら業務に取り組んでいる皆様も同じ様な悩みを持っていらっしゃることに逆に安心 (と言ってもはやや語弊がありますが) できた。解決させていくことをあらためて決心できた

- 他大学の知財に関するオペレーションをこれだけまとめて聞くことができる機会は貴重だと思う
- ソフトウェアやDBのライセンス（著作権）を積極的に取り組みたいと考えており本間先生のご講演は大変勉強になった。これらの研究成果は死蔵されるものや教員が知り合い企業などに無償で自由にに使わせてしまっているケースもあり管理方法の見直しも必要と考えている
- 時間と人材を掛けた大変貴重な分析結果の開示であったと敬意を表します
- 今回のテーマは興味深く良かったが寄せ集めの感あり
- 大変勉強になった
北海道大学様の発表にもあったが、大学における商標の活用、ブランド戦略について取り上げていただきたいと思う
- 本間先生の「ソフトウェア育成モデル」大変参考になった
職場に持ち帰って早速活用したいと思う
- 講演テーマが半日の時間に比して多いため、1つのテーマの講演時間が短くもう少し落ち着いて聞けると良かったと思う。又、実務者が参加しているので担当者のデータまとめ等こそ短い時間でよかったと思う

【総括】

2003年に知的財産本部が設置されて以来、本学では学外の知財関係者向けのシンポジウムを数多く開催してきた。こうしたシンポジウムは、すべて何らかの受託事業の成果として開催したものであったが、今年度開催した知的財産シンポジウムは、まったくの自主的な取り組みである。

シンポジウムは、「知財活用」と「知財事務管理」の2つのテーマを掲げ、2015年8月より準備を進めてきた。具体的には、「知財活用」については、14大学に知財活用の現状と課題、対応策、成功事例などをヒアリングした。また、「知財事務管理」については、効率の良い知財管理事務を実現するための実態について、46大学（ヒアリング9大学、アンケート43大学）に調査を行った。

多くの大学で実務担当者として、直接ヒアリングし、議論することで、各大学で共通に抱える課題が浮き彫りとなった。調査結果を詳細に分析し、かかる課題に対して先進的な取り組みをされている大学に、シンポジウムで講演いただいた。シンポジウムに対する参加者の感想はおおむね好評であった。

シンポジウムによる情報発信が、全国大学の知財関係者で情報共有され、知財活用の活性化の一助になれば幸いである。



4-4. 職種研究セミナー

■ 「知的財産関連職種への就職セミナー」

～パネルディスカッション～

【日 時】 第1弾 平成28年1月28日（木）17:15～18:40

第2弾 平成28年3月2日（水）16:20～17:45

【会 場】 第1弾 電気通信大学B棟101号室

第2弾 電気通信大学 東3号館306号室

【主 催】 電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門

【共 催】 学生支援センター 就職支援室

【プログラム】

第1弾

(1) 「あなたはどんな知財部署に適するのかわ？」

青稜特許業務法人 所長・弁理士 木崎 邦彦 氏

(2) 「知財関連の資格を取ろう！」

原田忠則特許事務所 所長・弁理士 原田 忠則 氏

第2弾

「知財部署の特徴や実態を知る！」

(電通大OB/OGによるパネルディスカッション)

【参加対象者】

2016年春に企業等の知的財産関連の職種への就職を希望する本学学生及び幅広く情報収集したいという段階の学生

【開催概要】

主催：知的財産部門、共催：就職支援室で、知的財産関連職種への就職セミナーとして開催した。

今年度のセミナーは、上記の二段階で行った。

第1弾では「知的財産とは…」、「知的財産部門の仕事の概要（権利化、維持、活用、紛争対応）」といった一般的な業界・職種の基礎知識を知ってもらい、第2弾ではパネルディスカッション形式で、それぞれの企業等の特色や雰囲気、仕事内容を、個別的に、さらに踏み込んだ具体的な内容の話をしていただき、知財の仕事や段階的に学べるように企画した。また、知財関連職種への就職を希望しない学生であっても、企業の知財部門の仕事がどのように行われているかを知る良い機会となるように配慮した。

【セミナー内容】

◇セミナー第1弾（1月28日（木））

(1) 「あなたはどんな知財部署に適するのかわ？」（17:15～17:55 40分）

(青稜特許業務法人 所長・弁理士 木崎 邦彦 氏)

本学OBであり企業の知的財産部門と特許事務所で豊富な指導経験をお持ちの講師をお迎えし、企業や特許事務所の知財業務についてご説明いただいた。

(2) 「知財関連の資格を取ろう！」（18:00～18:40 40分）

(原田忠則特許事務所 所長・弁理士 原田 忠則 氏)

企業エンジニア、企業の知財部門、特許事務所で豊富な経験をお持ちで、本学でも授業をご担当いただいている原田先生に、弁理士・知的財産管理技能など、知財関連資格についてご説明いただいた。

平成27年度 職種研究セミナー
知的財産関連職種への就職セミナー

第1弾 1/28 (木) 17:15～18:40 B棟101号室 受付17:00～

第2弾 3/2 (水) 16:20～17:45 東3号館306号室 受付16:00～

弁理士による業界説明
■ 議題1 あなたはどんな知財部署に適するのかわ？
青稜特許業務法人 所長・弁理士 木崎 邦彦氏 (電通大OB)
・企業の知財部門、特許事務所での豊富な指導経験を持つ講師が、企業の知財部門や特許事務所などの仕事について説明します。

■ 議題2 知財関連の資格を取ろう！
原田忠則特許事務所 電通大非特許顧問 所長・弁理士 原田 忠則氏
・企業エンジニア、企業の知財部門、特許事務所での豊富な経験を持つ講師が、弁理士・知的財産管理技能などの知財関連資格について説明します。

電通大OB/OGによるパネルディスカッション
■ 知財部署の特徴や実態を知る！
・企業の知財部門、特許事務所などで活躍する電通大OBの先輩から、職場での体験などの生の声をパネルディスカッション形式で聞きます。
・ハナリスト企業（敬称略）：キヤノン、リコー、日立製作所、NEC、パナソニック、トヨタ自動車、特許庁

■ 対象：2017年春卒業予定の公学生・院生1年生
※ 就職活動期でない学生も参加可です
※ 服装自由（どちらか単独の参加もOKです）
（第1弾・第2弾の両方を受講することを勧めます）
■ 申込み：知的財産部門への参加申し込みフォームから申し込みをしてください
<http://www.id.usc.ac.jp/>
■ 主催：産学官連携センター 知的財産部門 / 共催：学生支援センター 就職支援室
連絡先：seminar@ipc.usc.ac.jp TEL 042-443-6838



◇セミナー第2弾（3月2日（水））

本学のOBであり、知財部門等でご活躍されている若手の方にお集まりいただき、パネルディスカッション形式で本音トークをしていただいた。

パネリストを電通大OBに限定することで、ライバル関係にある企業の方が一堂に会することに対する「会社の承認が得られない」「参加しても大した話ができない」等の懸念を持たれずに、気軽に参加していただける雰囲気を醸し出した。また、当日は、各社等の秘密事項に触れない範囲で話していただけるよう、進行に配慮した。

(1) 関係者一覧（敬称略）

(a) パネリスト

- 原田 政治（H7修：パナソニック株式会社 知的財産センター 主幹知財技師）
- 田口 将義（H20修：ソニー（株） 知的財産センター リスクマネジメント部1Gp 係長）
- 亀川 洵一（H20修：キヤノン（株） 知的財産法務本部 光学機器知的財産第2課）
- 井上 文宏（H18修：（株）日立製作所 知的財産本部 特許第一部 第五G）
- 羽田 逸美（H26卒：日本電気（株） 知的財産本部 開発推進部）
- 萩島 豪（H20卒；特許庁 審査第四部 インターフェイス 審査官）

(b) モデレーター

- 田中 秀晴（電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門）

(c) スーパーバイザー

- 加古 彰子（電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門）
- 関口 通江（電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門）

(d) 運営スタッフ

- 村松 宏祥（電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門）
- 東城 和子（電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門）
- 鈴木 泰子（電気通信大学 産学官連携センター 知的財産部門）
- 電気通信大学 IP研究会の学生の皆様

(2) タイムスケジュールと各セッションの説明

16:20 ~ 16:25 開催挨拶・知的財産関連職種の基礎知識・第1弾の概要説明

「知的財産（権）とは・知的財産関連の職種の相互関係」について（加古）

16:25 ~ 16:50 各パネリストの自己紹介（3分/パネリスト）

16:50 ~ 17:45 パネルディスカッション・学生からの質問受付

モデレーターからテーマを提示し、パネリストのみなさんにコメントを求めながら討議をすすめた。

(3) 主なコメントの内容

(a) 実際のところ、日々の仕事は？

仕事のやりがい／職場の雰囲気・人間関係／残業vs自由時間

(b) 自らのスキルアップは？

身についたスキル・身につけたいスキル／支援制度

(c) 他の仕事、他の会社の方が良かった？

企業vs特許庁／知財の仕事vs研究・開発の仕事

(d) パネリストより一言

◆第1弾

<参加状況について>

参加者人数 24名（うち女性 2名）

事前申込み 17名

当日申込み 7名

<知的財産に関する仕事に対する興味について>

セミナー開始前：非常に興味がある（就職希望）・興味がある→12名

セミナー終了後：少し高まった・とても高まった→16名

<参加者コメント>

- AIにはできないというのは、説得力がありました。
- 弁理士になりたいと思っているので、大学在学中に勉強していくにはどのような勉強をすればよいか、またそのための環境としてはどのようなところがあるか。(B1・男)

◆第2弾

<参加状況について>

参加者人数 12名（うち女性 2名）

事前申込み 18名（欠席者 6名）

<知的財産に関する仕事に対する興味について>

セミナー開始前：非常に興味がある（就職希望）・興味がある→12名

セミナー終了後：少し高まった・とても高まった→11名

<参加者コメント>

- 質問時間を多く取ってほしかったです。(B3・男)

【総括】

1月28日、3月2日の2日間にわたり、本年度で10回目となる「平成27年度知的財産関連職種への就職セミナー」を産学官連携センター知的財産部門主催、就職支援室共催で開催した。

今年も知財関連職種への就職希望の学生が多く集まり、内容の濃いセミナーとなった。

第1弾では、業界・職種の基礎知識を得るための〈一般的な説明〉を、第2弾では、第1弾よりも踏み込んだ内容を知る〈具体的・個別的な説明〉を行い、知的財産の仕事を段階的に学ぶことを目指した。

第1弾の内容は録画し、就職支援室でも視聴できるようにした。

第2弾では、昨年度同様、知財部門等の若手の方（本学OB）にお集まりいただき、パネルディスカッション形式で、仕事の実際についてのお話を頂いた。

参加学生からは、知的財産業務に関する更なる興味・関心の声や、本学OBであるパネリストの「生」の話が大変参考になったとの声が寄せられた。

なお、今回の聴講者は第1弾では24名、第2弾では12名、全体では延べ36名となり、熱心に講師及びパネリストの話に聞き入る姿が数多く見られた。

さらに、第2弾セミナー終了後にはOBと参加学生との間で交流会が催された。

アンケート結果によると、このセミナーで、知財関連の職種への興味が増したとの回答が数多く寄せられた。

また、パネリストの皆様方にも、話し足りないぐらいたくさんのお話をさせていただき、現役学生との交流の場としても、本学を卒業した同世代の知財人同士の交流の場としても好評だったようだ。

当部門としても、今回パネリストとしてお越しいただいた電通大OBの若手の方々の学生の頃とは違った顔つきや、パネリストの皆様から大いに刺激を受けている現役学生の姿を見て、知財に強い電通大の伝統を守るべく、今後も優秀な知財人材を継続的に輩出できるよう、知財教育にもさらに力を入れていかなければならないと、思いを新たにしました。



4-5 知的財産教育

■平成 27 年度 知的財産権に関する授業

平成 18 年度より知的財産の授業を知的財産部門が担当し、カリキュラム、講師を変更し、学部3年生を主な対象として、前期には知的財産権関係の基本を学習する「知的財産権概論」を、また後期には実際の活用を中心とした「知的財産権管理」を設けた。

その後、平成 20 年度より大学院において、知的財産権全般についてさらに専門的内容を加味した「知的財産権特論」の授業を開始した。

また、平成 23 年度よりスーパー連携大学院でも「知的財産権特論」の講座を設け、スーパー連携大学院に参加している他大学の大学院生もオンラインで「知的財産権特論」を受講可能とした。本講座は、本学授業の担当講師の他に、専門の外部の弁護士、弁理士にも担当して頂いた。

更に、平成 25 年度より情報理工学部先端工学基礎課程にて、知的財産に技術者倫理の内容を加え、新たに「技術者倫理と知的財産」の授業を開始している。

【講座内容】

- ◇ 「技術者倫理と知的財産」情報理工学部 先端工学基礎課程 前学期・2単位（講師：本間高弘、他）
- ◇ 「知的財産権」情報理工学部 実践教育科目 後学期・2単位（講師：本間高弘、吉松勇、他）
- ◇ 「知的財産権特論」大学院情報理工学研究科 大学院実践教育科目 後学期・2単位（講師：本間高弘、他）
- ◇ 「知的財産権特論」スーパー連携大学院（講師：尾原和貴、本間高弘、他）